

2018『現日研・職場談話コーパス』公開記念シンポジウム：  
パネル討論：今後の研究の可能性について

# 「職場編後の現代日本語研究会 の研究展開」

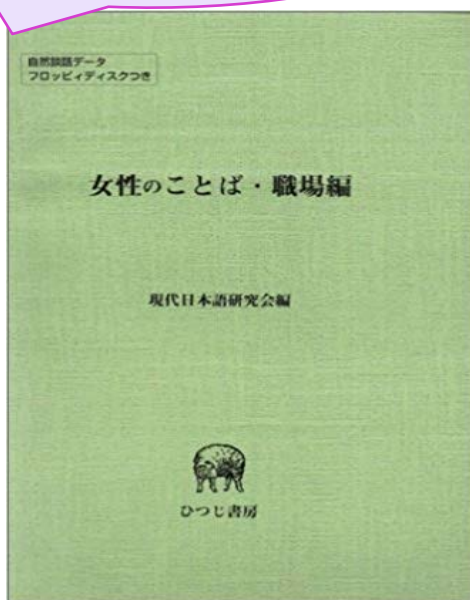
現代日本語研究会代表・琉球大学

高橋 美奈子

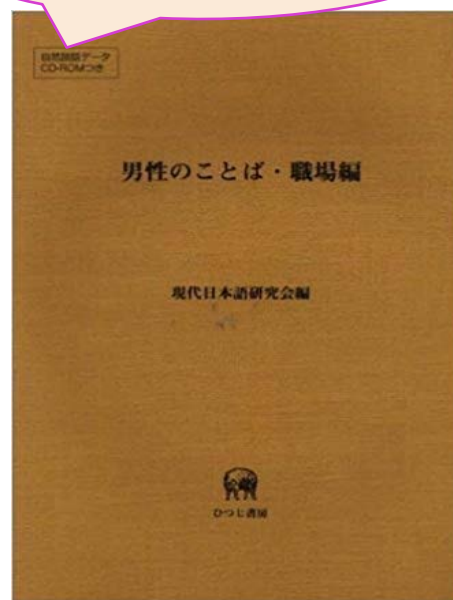
2018.9.3

# 1997年～2011年までの 現代日本語研究会（現日研）の自然談話研究

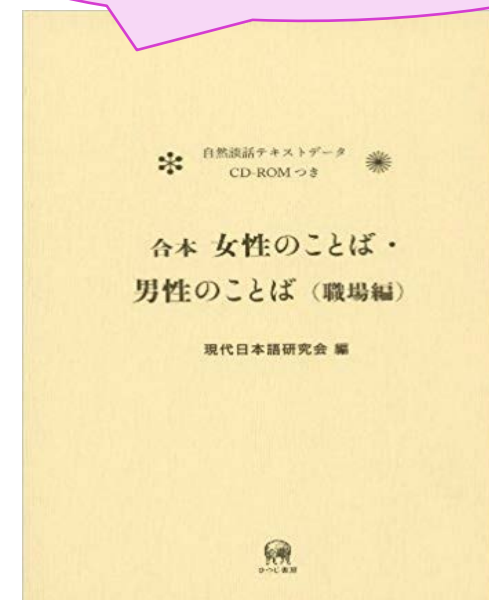
1997年に『女性のこ  
とば・職場編』（ひつじ  
書房）を刊行



2002年に『男性のこ  
とば・職場編』（ひつじ  
書房）を刊行



2011年に『合本 女性のこ  
とば・男性のことば（職場  
編）』（ひつじ書房）を刊行



# 職場編刊行後（2012年～）の研究展開 1

## ▶ 職場に限らず人々の日常談話の実際を知りたい

- ➡ 多くの研究者に、面倒な手続きがなく簡便に使ってもらえる談話資料を提供したい
- ➡ 談話資料を使ってできる様々な分析を紹介したい



2016年に『談話資料  
日常生活のことば』  
(ひつじ書房) を刊行

## 展開1：『談話資料 日常生活のことば』（『談話資料』）の概要

- ▶ **目的：** 主に首都圏で生活をしている人々の日常談話を文字化資料として提供することとその談話資料を使ってどのような分析ができるのかを示すこと。
- ▶ **調査研究者：** 現日研会員13名（うち5名が『職場編』の調査研究者）
- ▶ **調査・分析・執筆：** 研究参加者自らが録音資料の依頼から音声データの文字化、データの分析、論文執筆までのすべての工程に関わる。
- ▶ **研究論文：** 13本の研究論文を収録  
（『職場編』との比較研究、談話研究、ジェンダー、高齢者のことば、場面や話者の関係性、言語の変化等）

## 展開 1 : 『談話資料』の概要

- ▶ **自然談話収集時期** : 2011年6月から2014年1月
- ▶ **録音方法** : 『職場編』同様に、調査協力者自身が録音機を身に着けるか、あるいは近くにおき、自然な談話を少なくとも3場面（録音日時や相手が異なる場面）録音。各場面30分～1時間程度録音し、まとまった10分程度の音声を抽出し文字化。
- ▶ **総発話者数** : 計179人（調査協力者 31人、談話参加者 148人）
- ▶ **総時間数** : 計17時間38分（女性協力者 553分5秒、男性協力者 504分55秒）
- ▶ **総発話量** : 計27197レコード（女性協力者 14153、男性協力者 13044）
- ▶ **データ公開** : 『談話資料 日常生活のことば』に添付のCD-ROM（Excel）

## 展開 1 : 『談話資料』の調査協力者

- ▶ **調査協力者**： 首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）に在住、もしくは言語形成期（5、6歳～12、13歳）を首都圏で過ごした20代から70代の男女計31人。調査研究の承諾が得られた人。

	女性協力者（16人）	男性協力者（15人）
年代	大学生（2）、20代（2）、30代（2）、40代（2）、50代（3）、60代（3）、70代（2）	大学生（2）、20代（2）、30代（3）、40代（2）、50代（2）、60代（2）、70代（2）
職業	大学生（2）、保育補助（1）、無職（1）、日本語学校非常勤・アルバイト（1）、大学教員（2）、国家公務員（1）、会社員（1）、中学教員（1）、塾講師（1）、主婦（5）	大学生（2）、団体職員（1）、会社員（5）、研究者・米国在住（2）、飲食業（1）、小売業（1）、自営業（2）、無職（1）

- ▶ **談話参加者**： 148人（10代未満から90代まで、首都圏以外在住者や外国人含む）

## 展開 1 : 『談話資料』のフェイスシート

### ▶ フェイスシート： **場面と話者の関係性を明示**

A 協力者自身のこと： 名前、性別、年代、主な仕事、現在お住まいの都道府県、  
居住年数、言語形成期（5, 6歳～12, 3歳）を過ごした地域

B 録音した場面と相手について

**録音日**：201 年 月 日 **場所**：1. 自宅 2. 職場 3. 外出先（ ）

	相手1	相手2	相手3	相手4
<b>性別</b>	女性 男性	女性 男性	女性 男性	女性 男性
<b>年代</b>	[ ]代	[ ]代	[ ]代	[ ]代
<b>あなたとの関係1</b>	年上 同年代 年下	年上 同年代 年下	年上 同年代 年下	年上 同年代 年下
<b>あなたとの関係2</b>	親 普通 疎	親 普通 疎	親 普通 疎	親 普通 疎
<b>あなたとの関係3</b>				

※「関係2」では、大きく「とても親しい関係（親）・普段あまり接触のない関係（疎）・どちらでもない（普通）」の3グループに分けた場合、相手がどのグループに属すると思うか、お答えください。

※「関係3」には、夫・娘・同僚・上司・友人・先輩など具体的にご記入ください。

## 展開 1 : 『談話資料』の談話の場面と種類

- ▶ **談話の場面** : 計96場面 (3人のみ4場面、他は3)、各場面2人～最大6人で会話)

	女性協力者 (16人)	男性協力者 (15人)
自宅 (32場面)、データ量 : 35%	20場面・44%	12場面・25%
職場 (22場面)、データ量 : 20%	9場面・16%	13場面・24%
外出先 (42場面)、データ量 : 45%	20場面 (大学、祖父母宅、友人宅、車中、美容院、居酒屋、レストラン、水族館、介護施設、集会所等)・40%	22場面 (大学、実家、友人宅、車中、レストラン、居酒屋、喫茶店、寿司屋、補聴器店、テニスコート、スキー宿等)・51%

- ▶ **談話の種類** : 女性協力者 (雑談 85%、雑談以外 15%)  
 男性協力者 (雑談 91%、雑談以外 9%)



## 展開 1 : 『談話資料』の文字化

### ▶ 文字化の原則 :

- ▶ 「発話」の考え方 : ①意味のまとまりがある、②ポーズがある、③他者のさえぎりが無い  
(宇佐美2011の「発話文」を参照)
- ▶ 基本原則 : ①音声に忠実な表記、②漢字かな交じり文、③発話文末に句点、④読点は慣例に従う。
- ▶ 表記の方針 : 漢字、長音、数字、日付、俗語、外国語、ローマ字表記
- ▶ 記号 : イントネーション (↑、↓)、疑問文 (?)、発話の重なり (★、→ ←)、割り込みによる言いさし (//)、あいづち ( {うん [B40f] } )、笑い (<フフフ (笑い) >)、間・沈黙 (<沈黙4秒>)、言いよどみ (...)、ラッチング (=)、聞き取り不能 (###)
- ▶ 固有名詞の表示 : [A30f名] さん、[高校名1の略称2]、[店名1]
- ▶ 注記 : 【大声で】、【息を吸う音】、(=フィラー)、(=半額)、《121発話文に重複》

# 展開 1 : 『談話資料』のデータサンプル

協力者番号	協力者記号	行番号	行番号通し	場面番号	発話者	発話文番号	発話	追加情報	談話参加者	場所	場面1	場面2	関係	年代	親疎	同一人情報
2	SF2	952	1648	SF203	A20f	208	=場所、でも、ここさー、次、授業っばいじゃ★ーん。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	953	1649	SF203	B20f	209	→そうー {うん [C20f]} だったね。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	親	SF202、B20f/SF203、B20f
2	SF2	954	1650	SF203	A20f	210	うん、何(なに)かー # # # # # 。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	955	1651	SF203	C20f	211	<沈黙>でも、まだ、<少し間>3限までは、ここでいいよね? =。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	普通	
2	SF2	956	1652	SF203	A20f	212	=いっかな (=いいかな) ?、ざりざりまで。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	957	1653	SF203	A20f	213	人、入(はい)って # # # # # 。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	958	1654	SF203	C20f	214	→人、入(はい)っーてきたら恥ずかしいよねえ {<笑い> [複]} 。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	普通	
2	SF2	959	1655	SF203	C20f	215	恥ずか★しいけど、# # # # # 。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	普通	
2	SF2	960	1656	SF203	B20f	216-1	→これ、取りあえず←、何(なん)か、		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	親	SF202、B20f/SF203、B20f
2	SF2	961	1657	SF203	A20f	217	写メ★とく (=写メールをしておく) ? ↑。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	962	1658	SF203	B20f	216-2	→写←メとく (=写メールをしておく) ? ↑。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	親	SF202、B20f/SF203、B20f
2	SF2	963	1659	SF203	B20f	218	<沈黙9秒>あ、全部写んない。	動き回る音と写メールをとる音。	3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	親	SF202、B20f/SF203、B20f
2	SF2	964	1660	SF203	A20f	219	ね、一気に入(はい)んないもん (=もの) がある=。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	本人	本人	本人	
2	SF2	965	1661	SF203	B20f	220	=ねえ。		3人	外出先	打ち合わせ	大学の教室で友人たちと実習授業の準備	友人	年下	親	SF202、B20f/SF203、B20f

## 展開 1 : 『談話資料 日常生活のことば』の書評

- ▶ **金 (2018)** : 「語彙研究においても重要なデータとして利用されていく」 (p.39)
- ▶ **西尾 (2018)** : 本書には「良質な談話資料がCD-ROMに収められ、そのデータを用いた論文が掲載されている」 (p.86)
- ▶ **野田 (2016)** : 「本書のもっとも大きな意義は、自然談話データの公開である。この公開によって、雑談を中心に録音された17時間38分の文字化された談話データがだれにでも使えるようになった。このようなデータは、現在のところ、他にはない。今後、プライバシーに対する意識がますます高まる可能性が高いことを考えると、このデータは非常に貴重であり、『人類の宝』だと言える」 (p.138)

## 職場編刊行後（2012年～）の研究展開 2

- ▶ 現在の日本語のおもしろさを研究者に限らず、多くの皆さんに伝えたい
- ▶ 『談話資料』をもっと活用したい



2018年に『シリーズ日本語を知る・楽しむII 今どきの日本語 変わることば・変わらないことば』(ひつじ書房)を刊行

## 展開 2 : 『今どきの日本語』の目次

▶ **執筆者 :** 現日研会員9名 (全員『談話資料 日常生活のことば』の調査研究者)

▶ **ことば編**

第一章 江戸時代から生きてきた「やばい」の今

第二章 強調表現 メッチャからスngoイまで

第三章 「すごいきれい」はほんとうに「すごい」のですか？

第四章 「とか」の勢いはとまりません

第五章 「夫婦のことば」ちょっとのぞき見

第六章 超高齢化社会のことば

第七章 消えた?! 日常会話の性差・世代差

## 展開 2 : 『今どきの日本語』の目次

### ▶ コミュニケーション編

第八章 「この本、おもしろいってどうか」という心理

第九章 「クレームつけるぞ」を「クレームつけるぞ、みたいなの」という心理

第十章 コミュニケーションの極意 1 - ほめと、ほめへの応え方

第十一章 コミュニケーションの極意 2 - 頼みたいけど頼めないあなたへ

第十二章 コミュニケーションの極意 3 - 会話に笑いを

## 職場編刊行後（2012年～）の研究展開 3

- ▶ **実際の会話（『職場編』と『談話資料』）を使った日本語学習者向けの会話教科書をつくりたい**
  - ➡ 教科書執筆者や日本語教師が頭で考えて作った会話は、実際に話されている会話とは違うのではないか
  - ➡ 本物の会話に見られる会話の生きた姿を紹介したい

音声CD付き



2018年  
近刊予定

『そのまんまの日本語  
自然談話コーパスの会話  
で学ぶ』（ひつじ書房）

## 参考文献

- ▶ 宇佐美まゆみ監修（2011）『BTSJによる日本語話し言葉コーパス（トランスクリプト・音声）2011年版』[http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj\\_corpus\\_explanation.htm](http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj_corpus_explanation.htm)
- ▶ 遠藤織枝編（2018）『シリーズ日本語知る・楽しむII 今どきの日本語 変わることば・変わらないことば』ひつじ書房
- ▶ 金愛蘭（2018）「語彙（理論・現代）」『日本語の研究』第14巻3号、pp.33-40.
- ▶ 現代日本語研究会 遠藤織枝・小林美恵子・佐竹久仁子・高橋美奈子編（2016）『談話資料 日常生活のことば』ひつじ書房
- ▶ 現代日本語研究会編（1997）『女性のことば（職場編）』ひつじ書房
- ▶ 現代日本語研究会編（2007）『男性のことば（職場編）』ひつじ書房
- ▶ 現代日本語研究会編（2011）『合本 女性のことば・男性のことば（職場編）』ひつじ書房
- ▶ 西尾純二（2018）「社会言語・言語生活」『日本語の研究』第14巻3号、pp.83-90.
- ▶ 野田尚志（2016）「書評 『談話資料 日常生活のことば』」『ことば』37号、pp.138-142. 現代日本語研究会